

令和 8 年度 熊本デザイン専門学校 学校関係者評価委員会 議事録

日 時 : 令和 8 年 5 月 21 日(木) 11:00~12:00 (60 分程度)

会 場 : 熊本デザイン専門学校 401 教室

出席者 : 15 名

評価委員 (6 名)

有田 満里子 様	(有限会社有田 代表取締役社長)
島村 徹 様	(一般社団法人熊本県建築士事務所協会)
田中 千秋 様	(株式会社放送技研 代表取締役)
古家 達也 様	(株式会社フィールドワークス 代表取締役社長)
松本 美貴 様	(在校生保護者)
内村 友造 様	(卒業生・同窓会会長)

学校側出席者 (9 名)

内藤 謙一	(校長)
徳村 尚晃	(事務局長)
児玉 守	(教務部長 メディア映像デザイン科)
松本 雪	(副教務部長 ファッションデザイン科)
高峯 英幸	(グラフィックデザイン科)
千田 浩一	(建築・インテリアデザイン科)
坪根 涼	(入試広報課)
藤本 翔太	(就職課)
永野 夏菜子	(書記)

議 事 : ◇ 学校概要説明

- ①各学科学生数構成
- ②学生募集の状況
- ③就職状況及び業界動向
- ④令和 7 年度 各学科の取り組み

◇ 教育課程

児玉教務部長より、今年度から導入された単位制についての説明。
学校教育法の改正により、専門課程でも単位制が開始。
2 年間で必要な 62 単位編成へ。全科目必修体制を実施している。
学習時間を担保しつつ、より必須技能習得ができるような内容へ。
今後は部分的に選択科目の導入を検討するなど、より柔軟な構成を議論していく。

現在は専門学校にも透明性が求められている。
将来的には第三者評価委員会ができるよう、準備を進める。

◇ 令和7年度自己評価結果報告

児玉教務部長より、自己評価結果を報告し委員からご意見を頂いた。

【委員の意見等】

●各学科学生数構成 退学者が増えたことについて

本校の学費納入制度（年間一括）の特性上、中途退学は学生側に大きな経済的損失をもたらす。
縁あって本校を選んだ学生に対して何か修学支援の強化ができないか。

<今後の改善、方針等>

学生一人ひとりの状況に完全に寄り添った対応には依然として課題が残るものの、
現在は個別事情に応じた柔軟な学びの環境作りに着手している。
具体的には、通常授業と同時時間帯における遠隔授業（オンライン配信）の実施や、
学生の個別ニーズに合わせた可能性を試験的に模索しており、今後も学生に寄り添い、
定着・拡充に向けた検証を進めていく。
また、前年度は学習の質を高めたが故に学業成績が未達成となり、退学となる学生が増加した。
学校側も学業基準を問題としている。
教務が学校説明会等でいかに学科のプレゼンができるかで入学者増加の可能性のあることから、
広報だけでなく、職員全員で検討していくことが重要と考える。

●就職について 各学科の就職先はどのようなところが多いか。

<今後の改善、方針等>

ファッション科は100%ほぼ業界に就職している。グラフィック科とメディア映像科はインハウスでの採用も増加も見られる。しかし依然として県内就職希望者が多く、一般企業・派遣会社に就職する学生もいる。
近年は県内新卒が特に減少傾向のため、業界と一般企業両方を検討して採用を目指す。AIの普及で専門職が減少しているが、技術+AIを上手く利用できることが採用に繋がると考えるため、AI対応できる学習を進めていく。

●PC機材の買い替えのタイミングはいつ行っているか。

<今後の改善、方針等>

機材の更新時期については学科ごとに異なり、グラフィック科は入学時の個人購入を基本としているため

毎年新機材に更新されており、アプリケーションも常に最新の状態を保っている。

一方、他学科においては約 5 年周期での買い替えを実施してきた。

しかし現在、物価高騰に伴い機材価格が従来約 2 倍に高騰している。

この財務的インパクトを緩和するため、現在は一斉の買い替えを避け、購入のタイミングをずらすなどの時期の調整を行っている。

- 現 2 年生による地域課題へのボランティア取り組みを機に、学生がより広く地域課題に目を向けることを期待する。在学中のみならず、就職（卒業）後も高い社会貢献意識を持ち、ボランティア活動等に積極的に参画できる社会人となれるよう、学校側での継続的な意識付けや指導をお願いしたい。

＜今後の改善、方針等＞

諸外国に比べ国内のボランティア参画が未だ限定的であること、また現代における世代間交流の減少という背景を踏まえ、本校としても地域課題への取り組みを極めて重視している。

これらは学生の人間的成長に直結する貴重な機会であり、一過性のイベントに終わらせず、今後も教育活動の重要な柱として大切に継続していく方針である。

◇ 校長挨拶

閉会にあたり校長より挨拶を行った。